



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月27日

上場会社名 スタンレー電気株式会社
 コード番号 6923 URL <https://www.stanley.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北野 隆典

問合せ先責任者 (役職名) 経理部門長 (氏名) 赤松 知範

TEL 03(6866)2222

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	59,854	42.0	450		358		1,295	
2020年3月期第1四半期	103,262	6.0	12,976	7.8	14,358	4.9	9,406	5.8

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 4,064百万円 (19.4%) 2020年3月期第1四半期 5,045百万円 (46.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	8.03	
2020年3月期第1四半期	57.71	57.69

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	487,391	395,329	73.1
2020年3月期	494,365	397,989	72.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 356,349百万円 2020年3月期 358,519百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		25.00		20.00	45.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		20.00		25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	152,000	25.7	6,500	69.9	8,000	67.2	2,500	84.0	15.51
通期	340,000	13.2	30,000	20.8	34,000	13.2	19,500	5.1	121.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	173,700,000 株	2020年3月期	174,200,000 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	12,670,210 株	2020年3月期	12,283,275 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	161,249,745 株	2020年3月期1Q	163,008,554 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しで、リスクや不確実性を含んでおり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることを、ご承知おきください。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、四半期決算短信(添付資料)P.3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 全般的な営業の概況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）の世界的大流行が大きく影響した結果、中国では持ち直しの動きになったものの、わが国を含む他の地域全てにおいて、極めて厳しい状況になりました。

以上のような事業環境のもと、当社並びにグループ各社（以下、当社グループ）の業績は、前期から続く世界的な自動車の販売・生産台数減少に加え、感染症拡大防止のための生産活動の一時停止や減産が行われたことで、主に自動車関連製品が大きく減少した結果、当第1四半期連結累計期間において、売上高は598億5千4百万円（前年同期比42.0%減）、営業損失は4億5千万円（前年同期は129億7千6百万円の営業利益）、経常損失は3億5千8百万円（前年同期は143億5千8百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は12億9千5百万円（前年同期は94億6百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）と減収減益になりました。

② セグメント情報の概況

前第2四半期連結会計期間から、自動車機器事業に含まれていたアクセサリ&パーツ製品について、事業区分を見直し、コンポーネンツ事業へ変更いたしました。以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

1) 自動車機器事業

自動車生産台数及び二輪車生産台数は、共に中国では増加したものの、日本、米州、欧州、アジアでは減少となり、世界全体として減少となりました。

このような市場環境のもと、当社グループの自動車機器事業は、自動車、二輪車の販売・生産台数減少の影響を受けて、自動車用ランプ及び二輪車用ランプが減少したことにより、減収減益となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における自動車機器事業の売上高は448億7千万円（前年同期比46.3%減）、営業損失は20億3千2百万円（前年同期は77億6千5百万円の営業利益）となりました。

2) コンポーネンツ事業

当セグメント（主な製品：LED、液晶等）が関連する、LED照明市場は増加となったものの、車載市場、情報通信市場、AV市場、及び遊技市場は減少となりました。

このような市場環境のもと、当社グループのコンポーネンツ事業は、自動車生産台数が減少した影響を受けて、車載用LED、液晶、及び自動車電球が減少したことにより、減収減益となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間におけるコンポーネンツ事業の売上高は69億4千7百万円（前年同期比37.7%減）、営業利益は1億1千4百万円（前年同期比92.3%減）となりました。

3) 電子応用製品事業

当セグメント（主な製品：LED照明、液晶用バックライト、ストロボ、操作パネル、社内向け電子基板等）が関連する、LED照明市場、情報通信市場のうちPC・タブレット市場は増加となったものの、車載インテリア市場、OA市場、及びカメラ市場は減少となりました。

このような市場環境のもと、当社グループの電子応用製品事業は、リモートワークやオンライン授業の増加によるPC特需を受けて、当社独自のプライバシー機能付きバックライトが増加したものの、自動車用ランプの制御等に用いる電子基板や車載向けの操作パネル等が減少したことにより、減収減益となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における電子応用製品事業の売上高は174億7千2百万円（前年同期比27.3%減）、営業利益は20億7千3百万円（前年同期比24.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は4,873億9千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ69億7千4百万円減少しております。要因は、固定資産が46億7千3百万円増加したものの、流動資産が116億4千8百万円減少したことによるものです。固定資産の増加は、投資有価証券及び有形固定資産が増加したこと等によるものです。流動資産の減少は、現金及び預金が増加したこと等によるものです。

負債は920億6千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ43億1千4百万円減少しております。主な要因は、支払手形及び買掛金が減少したこと等によるものです。

純資産は3,953億2千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億5千9百万円減少しております。主な要因は、その他の包括利益累計額が43億5千3百万円増加したものの、株主資本が65億2千2百万円減少したこと等によるものです。その他の包括利益累計額の増加は、その他有価証券評価差額金が増加したこと及び為替換算調整勘定が増加したこと等によるものです。また、株主資本の減少は、配当金の支払い及び親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、感染症拡大の影響により未定とさせていただいておりましたが、現時点で入手可能な情報に基づいておよその影響額を試算し、公表することといたしました。

今後のわが国経済は、足元で経済活動再開の動きがみられているものの、完全に正常化するには相応の時間を要するものと思われま

す。また、世界経済に目を向けますと、新興国では感染の拡大ペースが加速しており、一旦は収束に向かっていた先進国でも一部で再び増加し始めていることから、経済活動は抑制基調になる見通しです。

このような事業環境のもと、当社グループで総力を挙げて取り組んでいる生産革新活動を着実に成果につなげ、いかなる環境下においても利益を生み出す強い企業体質の定着を目指し、健全な危機意識のもと、当社グループ一丸となって経営を推進していく所存です。

以上により、通期の業績については、売上高は3,400億円(前期比13.2%減)、営業利益は300億円(前期比20.8%増)、経常利益は340億円(前期比13.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は195億円(前期比5.1%増)を見込んでおります。

上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しで、リスクや不確実性を含んでおり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることを、ご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	133,475	122,517
受取手形及び売掛金	52,569	46,509
有価証券	200	701
たな卸資産	31,851	35,970
その他	21,815	22,564
貸倒引当金	△6	△8
流動資産合計	239,904	228,256
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	63,784	63,189
機械装置及び運搬具（純額）	56,792	56,868
工具、器具及び備品（純額）	17,668	18,430
土地	14,961	15,038
リース資産（純額）	2,713	2,667
建設仮勘定	26,243	28,034
有形固定資産合計	182,164	184,229
無形固定資産		
のれん	4,180	817
その他	5,178	8,605
無形固定資産合計	9,359	9,423
投資その他の資産		
投資有価証券	55,313	59,110
繰延税金資産	5,018	3,870
その他	2,605	2,500
投資その他の資産合計	62,937	65,481
固定資産合計	254,461	259,135
資産合計	494,365	487,391

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,253	26,177
1年内返済予定の長期借入金	—	107
リース債務	821	789
未払法人税等	2,081	1,853
製品保証引当金	17,689	17,029
賞与引当金	4,613	2,504
役員賞与引当金	112	48
その他	17,718	21,222
流動負債合計	74,289	69,733
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	108	—
リース債務	2,000	2,037
繰延税金負債	1,079	1,751
役員退職慰労引当金	49	51
退職給付に係る負債	7,302	7,164
資産除去債務	499	500
その他	1,046	822
固定負債合計	22,086	22,328
負債合計	96,376	92,061
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,514	30,514
資本剰余金	29,878	29,878
利益剰余金	327,781	322,049
自己株式	△29,643	△30,433
株主資本合計	358,532	352,009
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,112	16,669
為替換算調整勘定	△12,619	△10,949
退職給付に係る調整累計額	△1,506	△1,379
その他の包括利益累計額合計	△13	4,339
新株予約権	457	481
非支配株主持分	39,012	38,498
純資産合計	397,989	395,329
負債純資産合計	494,365	487,391

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	103,262	59,854
売上原価	79,744	51,321
売上総利益	23,517	8,532
販売費及び一般管理費	10,541	8,982
営業利益又は営業損失(△)	12,976	△450
営業外収益		
受取利息	398	390
受取配当金	162	92
持分法による投資利益	517	—
受取ロイヤリティー	364	145
為替差益	13	—
雑収入	178	250
営業外収益合計	1,635	879
営業外費用		
支払利息	76	24
持分法による投資損失	—	345
為替差損	—	310
雑損失	177	106
営業外費用合計	253	787
経常利益又は経常損失(△)	14,358	△358
特別利益		
固定資産売却益	0	4
特別利益合計	0	4
特別損失		
固定資産除却損	156	382
特別損失合計	156	382
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	14,201	△736
法人税等	3,269	279
四半期純利益又は四半期純損失(△)	10,932	△1,016
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,525	278
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	9,406	△1,295

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	10,932	△1,016
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,407	2,556
為替換算調整勘定	△7,435	1,543
退職給付に係る調整額	136	125
持分法適用会社に対する持分相当額	4	854
その他の包括利益合計	△5,887	5,080
四半期包括利益	5,045	4,064
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,991	3,058
非支配株主に係る四半期包括利益	53	1,006

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位: 百万円)

	自動車 機器事業	コンポーネ ンツ事業	電子応用 製品事業	その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	83,469	6,893	12,896	3	—	103,262
セグメント間の内部 売上高又は振替高	91	4,256	11,137	646	△ 16,131	—
計	83,560	11,149	24,033	649	△ 16,131	103,262
セグメント利益	7,765	1,494	2,728	9	978	12,976

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない身体障害者雇用促進事業、グループに対する金融・経営サービス等の事業活動を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額978百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△605百万円、セグメント間取引消去1,571百万円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的試験研究費及び管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位: 百万円)

	自動車 機器事業	コンポーネ ンツ事業	電子応用 製品事業	その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	44,722	4,221	10,904	6	—	59,854
セグメント間の内部 売上高又は振替高	148	2,725	6,567	465	△ 9,908	—
計	44,870	6,947	17,472	472	△ 9,908	59,854
セグメント利益又は 損失(△)	△ 2,032	114	2,073	△ 56	△ 549	△ 450

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない身体障害者雇用促進事業、グループに対する金融・経営サービス等の事業活動を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△549百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,597百万円、セグメント間取引消去979百万円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的試験研究費及び管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第2四半期連結会計期間から、自動車機器事業に含まれていたアクセサリ&パーツ製品について、事業区分を見直し、コンポーネンツ事業へ変更いたしました。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。